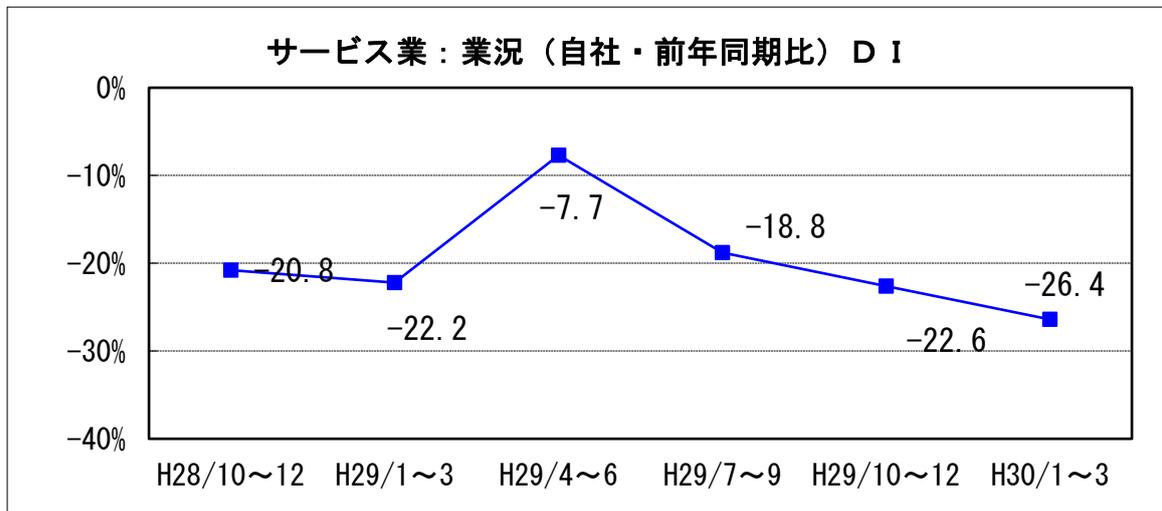


## 5. サービス業の動向

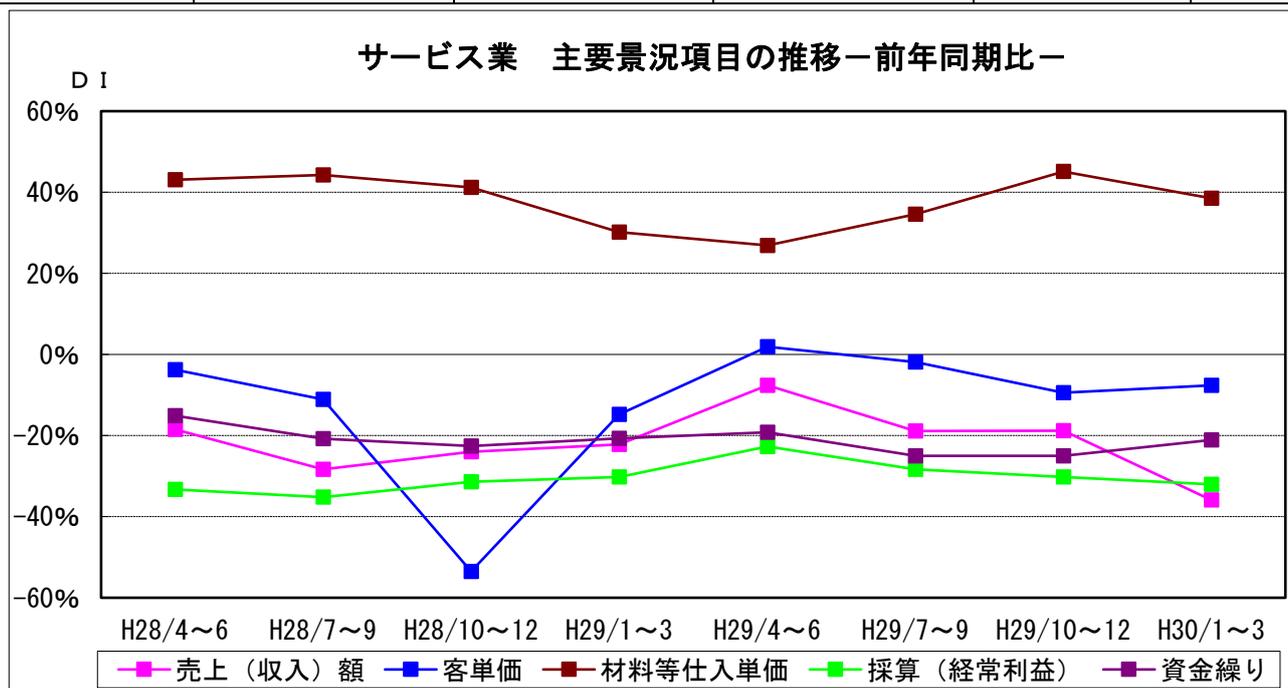
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲26.4。前期▲22.6から▲3.8ポイント下降した。来期見通しは▲24.5とほぼ横ばいの見込み。



### サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

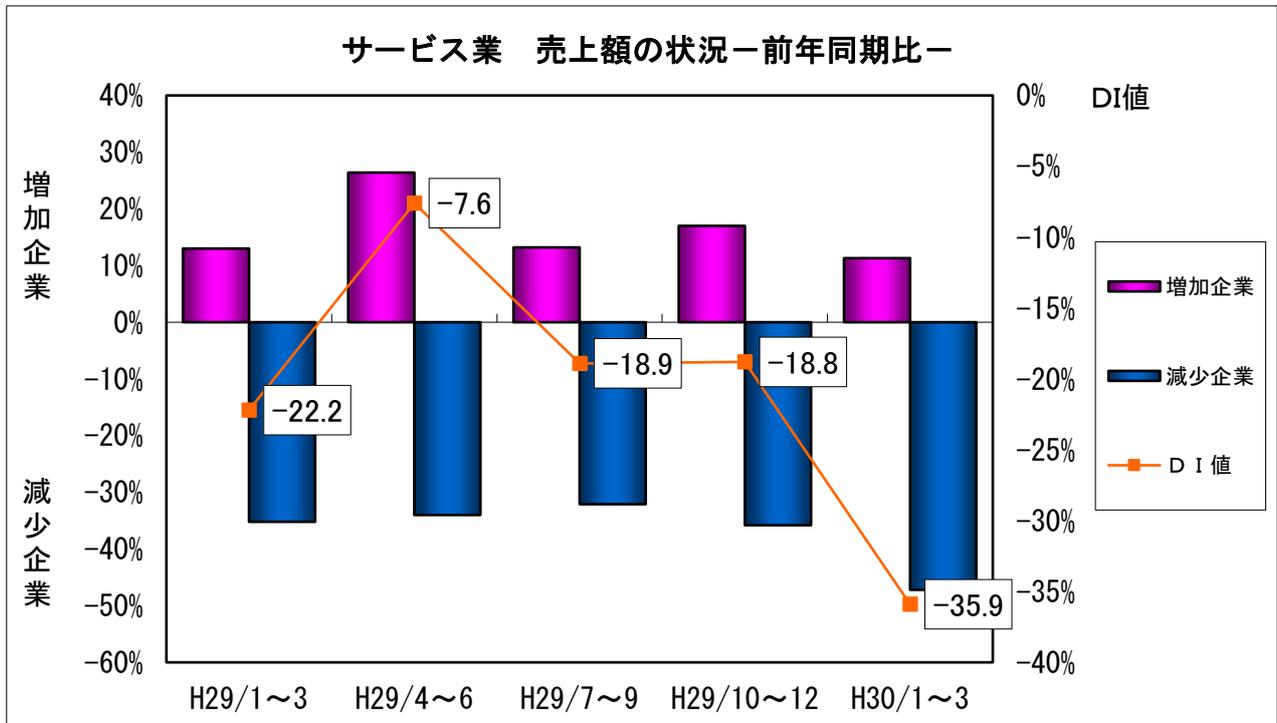
	前々期 (29年7月~9月)	前期(A) (29年10月~12月)	今期(B) (30年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲18.9	▲18.8	▲35.9	▲17.1	▲17.0
客単価	▲1.9	▲9.4	▲7.6	1.8	▲5.7
材料等仕入単価	34.6	45.1	38.5	▲6.6	28.9
採算(経常利益)	▲28.3	▲30.2	▲32.0	▲1.8	▲30.2
資金繰り	▲25.0	▲25.0	▲21.1	3.9	▲19.2



(2) 主要項目の概況

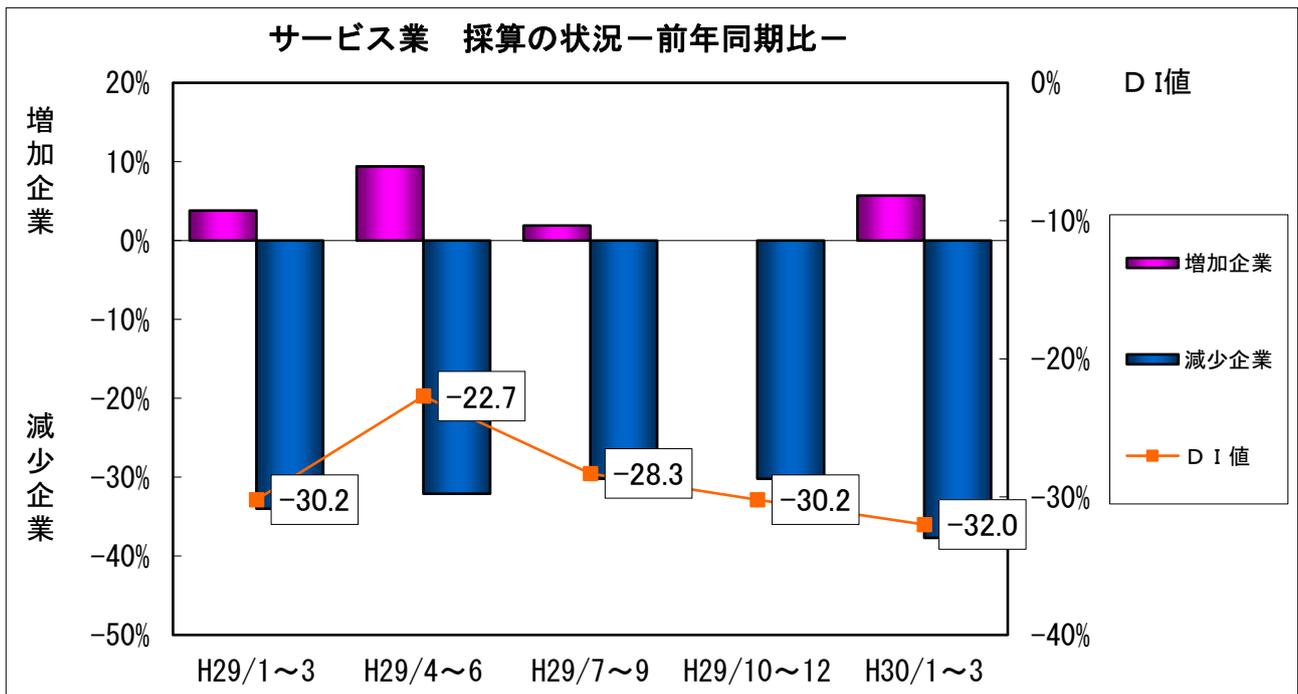
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I値は、▲35.9。前期の▲18.8から17.1ポイントと大きく下降した。来期見通しは、▲17.0とほぼ横ばいの見込み。



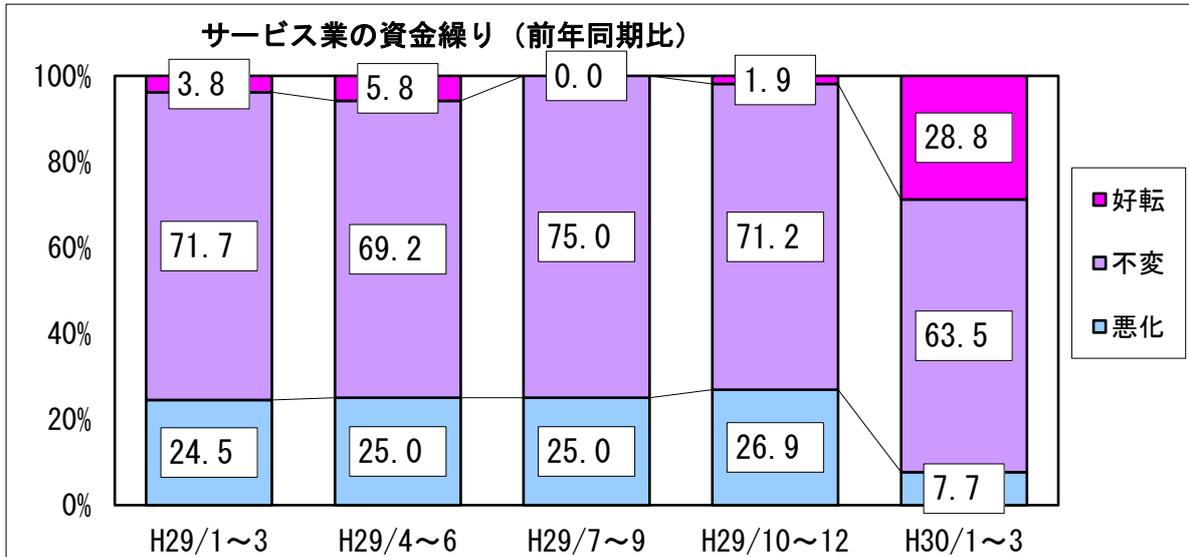
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲32.0。前期の▲30.2より1.8ポイントの下降となった。来期見通しは、▲30.2とほぼ横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、21.0。前期の▲25.0から46.1ポイントと大きく改善した。来期見通しは19.2とやや下降が予想される。

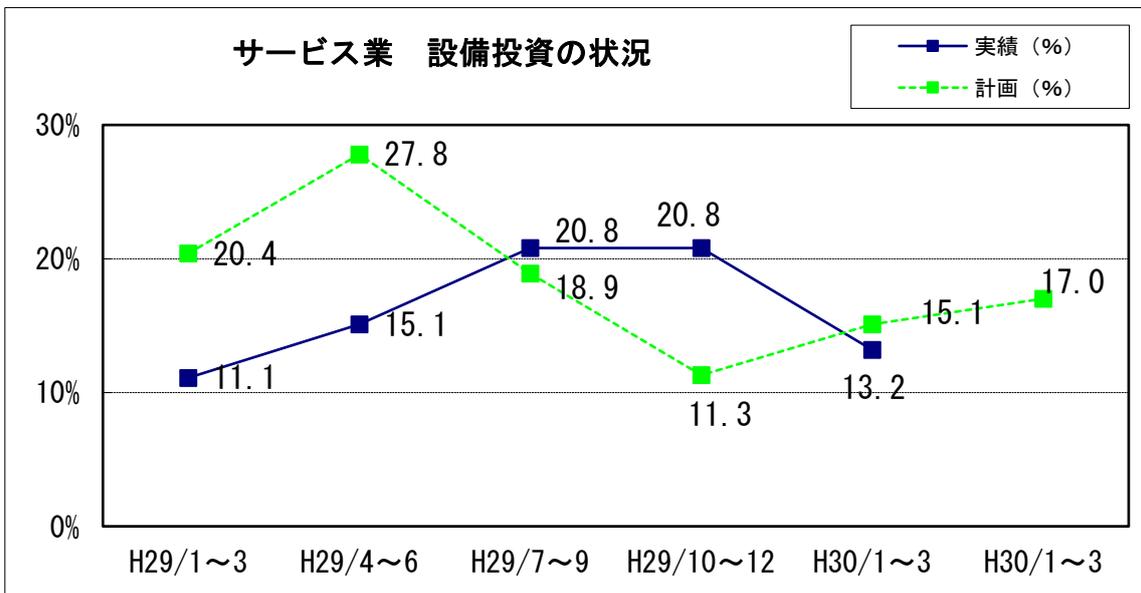


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	11	0	4	1	1	1	1	0	3	42
(%)	20.8	0.0	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	27.3	79.2
今期実施 (実数)	7	1	1	1	2	1	2	0	2	46
(%)	13.2	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6	86.8
来期計画 (実数)	9	0	4	0	1	3	0	0	3	44
(%)	17.0	0.0	44.4	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	33.3	83.0

今期設備投資を実施した企業は7社（13.2%）。前期（平成29年10～12月期）実施企業11社（20.8%）から減少した。来期は9社（17.0%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 43.5%→今期 45.5%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 37.0%→今期 40.9%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 41.3%→今期 29.5%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 26.1%→今期 27.3%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 19.6%→今期 18.2%)

となっている。

